

2025年1月27日

各 位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

子どもたちに『ごはん 28 万杯分』の食事代を寄付 ～「秋のウォーキングキャンペーン」を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗、以下「当社」）は、認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ（理事長：三島 理恵）に、子どもたちのごはん約 28 万杯に相当する金額を寄付します。

こども食堂は、おなかをすかせた子どもたちへの食事提供から孤食の解消、地域の多世代交流の場など、誰にとっても大切な“居場所”となりうる場所です。当社は「誰も取りこぼさない社会をつくる」との想いで活動している「むすびえ」の取組みに共感し寄付を行うことで、未来を担う子どもたちや子育て世帯を支援するとともに、子どもの貧困や孤立等の課題解決に向けた地域・社会とのつながりづくりに貢献します。

当社が提供する中小企業の健康経営^{※1}実践支援ツール「大同生命 KENCO SUPPORT PROGRAM」の利用者を対象とした「秋のウォーキングキャンペーン」（開催期間：本年 10 月 1 日～10 月 31 日）において、「参加者が 1 日 8,000 歩を達成した回数に応じて、ごはん茶碗 1 杯分相当の寄付」を実施し、当社役職員を含め過去最高となる約 2.2 万名の方に参加いただきました。



結果、子どもたちのごはん約 28 万杯にあたる約 884 万円を寄付します。

今後も健康経営の推進を通じて、中小企業で働くすべての人々の健康維持・増進に貢献するとともに、様々な社会貢献活動を通じて、「サステナブルな社会」の実現に貢献してまいります。

<寄付先および寄付内容>

団 体 名	認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
代 表 者	理事長：三島 理恵
設 立 年 度	2018 年
活 動 内 容	こども食堂を応援する企業・団体とこども食堂をつなぐほか、こども食堂の意義や実態を伝え、理解を広げるための調査・研究などを行う。
寄 付 内 容	ウォーキングキャンペーン参加者が 1 日 8,000 歩を達成した回数（約 28 万回） ^{※2} に応じて、1 回あたりごはん茶碗 1 杯分 ^{※3} 相当の金額を寄付
寄 付 金 額	8,848,485 円

※1：「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※2：8,000 歩達成回数は「285,435 回」です。

※3：1 杯あたり約 31 円で換算。

（次ページに続く）

<「ウォーキングキャンペーン」を通じた寄付活動>

時期	寄付先	目的	寄付金額
2022 年 7 月	特定非営利活動法人	アジア・アフリカの子どもたちに学校	5,240,520 円
2022 年 11 月	TABLE FOR TWO International	給食を提供	6,202,640 円
2023 年 3 月	認定NPO法人	国内のひとり親世帯の子どもたちに食	5,263,400 円
2023 年 7 月	グッドネーバーズ・ジャパン	事を提供	5,975,730 円
2023 年 11 月	認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	こども食堂を通じた子どもたちへの食 事の提供	7,640,442 円
2024 年 3 月	「令和 6 年能登半島地震」 の被災地	被災されたみなさまの支援や被災地復興に 役立てていただくため	20,000,000 円
2024 年 7 月			7,492,407 円
2024 年 11 月			8,886,886 円
2025 年 3 月	認定NPO法人	こども食堂を通じた子どもたちへの食	7,194,100 円
2025 年 7 月	全国こども食堂支援センター・むすびえ	事の提供	7,416,046 円
2025 年 11 月			8,848,485 円
【 今 回 】			
合計			90,160,656 円

<KENCO SUPPORT PROGRAM (KSP) の概要>

KSPは、企業の「健康診断の受診促進の支援」、経営者・従業員個々の「生活習慣病等の発症リスク分析」、継続的な健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション・インセンティブの提供」など、健康経営に必要なPDCAサイクルの実践を一貫して支援する大同生命のWebサービスです。

